

「公印省略」

3農林試第930号-6  
令和3年8月25日

各関係機関団体の長 }  
各病虫害防除員 } 殿

福岡県農林業総合試験場長  
(福岡県病虫害防除所)

令和3年度病虫害発生予察技術情報第6号について

このことについて、病虫害発生予察技術情報第6号（水稻トビイロウンカの飛来状況）を発表しましたので送付します。

8月13～15日にかけてトビイロウンカの飛来が認められています。収穫の遅い中晩生品種を中心に今後のほ場での発生状況に注意し、必要に応じて防除指導をお願いします。

技術情報第6号

- 1 作物名 水稻
- 2 病虫害名 トビイロウンカ
- 3 飛来状況

糸島市の予察灯で8月13日、筑紫野市の予察灯で8月14日、遠賀町の予察灯で8月15日にトビイロウンカの誘殺を確認した（表）。また、飛来成虫と考えられる個体が本田で確認されている。

表 トビイロウンカ及びセジロウンカの誘殺状況

月日	トビイロウンカ						セジロウンカ					
	予察灯						予察灯					
	筑紫野市	糸島市	大木町	行橋市	遠賀町	予察灯計	筑紫野市	糸島市	大木町	行橋市	遠賀町	予察灯計
8/11	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
8/12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
8/13	0	1	0	0	0	1	3	21	1	3	14	42
8/14	1	0	0	0	0	1	11	4	12	1	11	39
8/15	0	0	0	0	1	1	9	2	8	21	32	72
8/16	0	0	0	0	0	0	0	1	3	10	2	16
8/17	0	0	0	0	0	0	8	1	7	5	2	23
8/18	0	0	0	0	0	0	2	3	0	6	0	11
8/19	0	0	0	0	0	0	1	0	1	9	3	14

#### 4 防除上注意すべき事項

- (1) 8月に新たに飛来した世代が今後、2世代増殖して普通期水稻の収穫期に被害を及ぼす恐れがあることから、特に中晩性品種では発生状況に注意し、必要に応じて補正防除を行う。
- (2) トビイロウンカは、地域およびほ場による発生の違いが大きいので、発生予想パターン図を参考に、ほ場における発生状況を把握し、発生が多い場合は幼虫期に防除を行う。

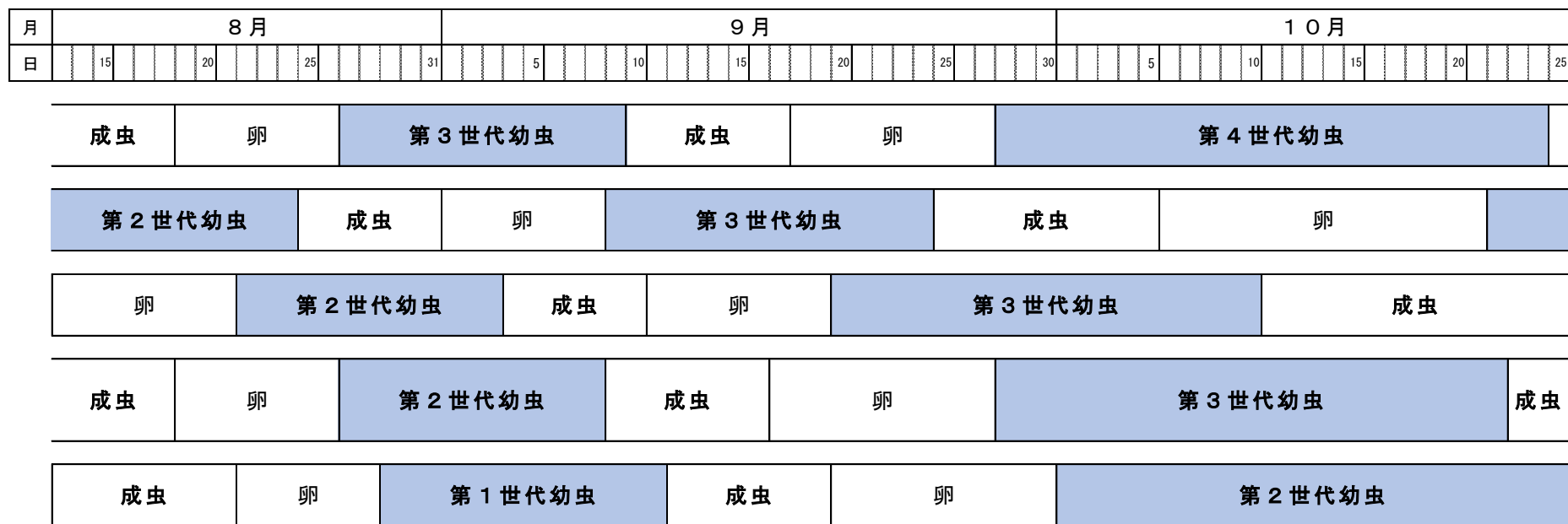
＜要防除水準：トビイロウンカ幼虫の合計数＞

飛来後第1世代：20頭/100株

飛来後第2世代：100頭/100株

9月末：1000頭/100株

- (3) 防除にあたっては、薬剤が株元まで届くよう散布し、散布後に防除効果を必ず確認する。
- (4) 農薬の使用基準（使用時期、使用回数等）を遵守し、周辺ほ場への飛散防止対策を講ずる。
- (5) 病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。  
「福岡県病害虫防除所ホームページ」 <http://www.jppn.ne.jp/fukuoka/>



(注) (1) 発育零点12.0℃、発育上限温度28.5℃、発育停止温度33.0℃、有効積算温度(成虫期間100.0℃・卵期間109.4℃・幼虫期間189.4℃)  
(2) 気温はアメダス太宰府を使用(8月24日まで実測値、以降は平年値)。

図 飛来に基づくトビロウカの発生予想パターン図(令和3年8月25日作成)